

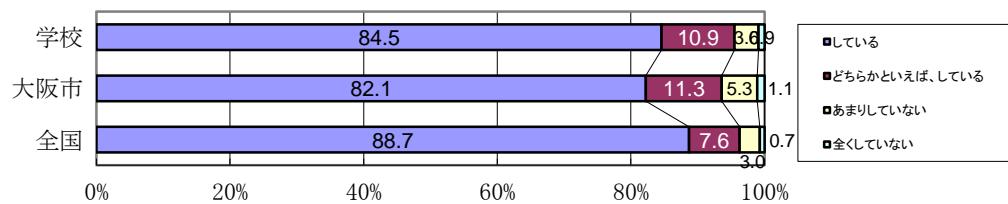
基本的生活習慣・自尊感情・規範意識

結果の概要

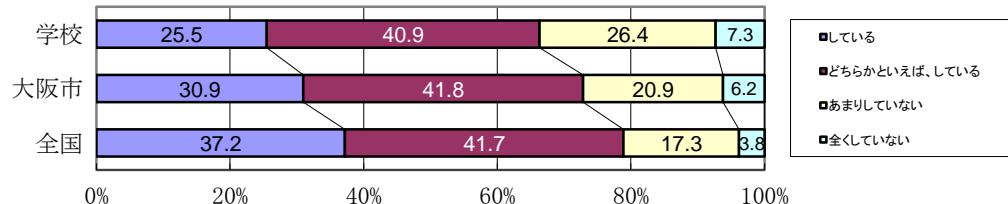
- 約95%の子どもたちは「朝食を毎日食べている」という回答をしているが、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした子どもたちの割合が全国・大阪市平均に比べ低い。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」という自尊感情を問う質問に対して、肯定的な回答をした子どもたちの割合は約7割を占めているが、全国平均に比べるとやや下回っている。
- 「学校のきまり」については、肯定的な回答をした子どもたちの割合が93.7%となっており、全国・大阪市平均より上回っている。

質問番号	質問事項
------	------

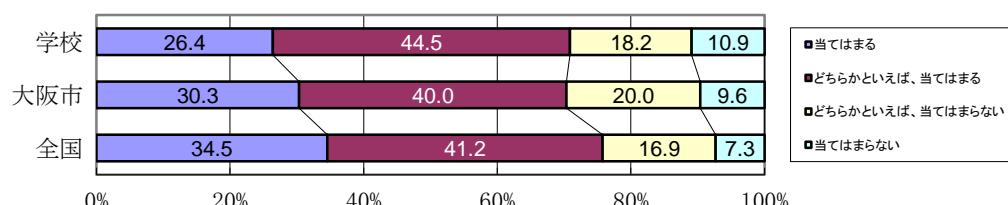
I 1	II 1	III 1
朝食を毎日食べていますか		



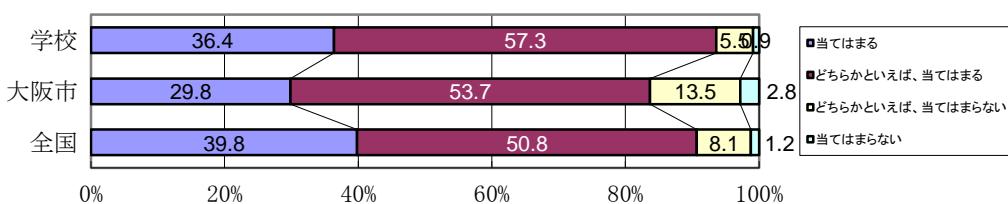
I 2	II 2	III 2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		



I 6	II 6	III 6
自分には、よいところがあると思いますか		



I 44	II 41	III 44
学校のきまりを守っていますか		



成果と課題

「毎日朝食を食べる」という基本的な生活習慣については、家庭と連携しながら機会あるごとに声かけを継続していることもあり、良好な結果となっているが、「寝る時刻は決まっていない」とする子どもたちが3割以上見られることについては今後の課題としていく必要がある。また、「自尊感情」「規範意識」とも「どちらかといえば、当てはまる」とする回答がやや多いのは、自分の意識としてはっきりとしない自信のなさが出ているとも考えられる。

今後の取組

- 基本的な生活習慣の育成に向け、家庭と連携しながら子どもたちへの声かけを継続していく。
- 「学校のきまり」を配布するとともに、校内アンケートの「決められた場所のそうち」「あいさつ」「ものを大切にする」といった項目について肯定的な回答の割合を高めていく。道徳教育の推進。
- 地域の人たちとの交流、異学年との交流を推進していく。